

日本哲学会 第66回大会（千葉大学）プログラム

日本哲学会主催
千葉大学文学部後援

2007年5月19日（土）＜第1日目＞

<p>10:00</p> <p>【研究発表第1会場】（文学部棟106号室）</p> <p>ベルクソンとアインシュタインのエネルギー概念について 中富清和</p> <p>メルロ-ポンティにおける言葉の問題と制度化 山倉裕介</p> <p>ジョン・ロックの遺産相続権論 浅野幸治</p>	<p>【研究発表第2会場】（文学部棟206号室）</p> <p>ハンナ・アーレントにおける真理の概念 小山花子</p> <p>アーレントにおける「思考」と「活動」の関係について 三浦隆宏</p> <p>交流と自製の論理 新川信洋</p>	<p>【研究発表第3会場】（社会文化科学系総合研究棟マルチメディア講義室）</p> <p>トマス・アクィナスの「存在の分有」における類似性と複合性 芝元航平</p> <p>思惟という営み 辻内宣博</p> <p>「気高い嘘」と「有益な偽り」 齊藤安潔</p>
<p>12:00</p> <p>委員会(法経第1会議室)</p>		
<p>13:00</p> <p>第59回総会（文学部棟105号室）</p> <p>13:50</p>		
<p>14:00</p> <p>【研究発表第1会場】（文学部棟106号室）</p> <p>企業のための定言命法？ 田中美紀子</p> <p>ニューカムの問題と決定論 長澤英俊</p>	<p>【研究発表第2会場】（文学部棟206号室）</p> <p>カッシーラーのハンプルク期と神話論 千田芳樹</p> <p>ハンス・ヨーナスの哲学的生命論について 吉本陵</p>	<p>【研究発表第3会場】（社会文化科学系総合研究棟マルチメディア講義室）</p> <p>アリストテレスの命題観について 松尾悠子</p> <p>アリストテレスにおける定義実践と定義規準との区別 日吉大輔</p>
<p>15:30</p> <p>【共同討議Ⅰ】</p> <p>「ジェンダーと哲学」（文学部棟106号室）</p> <p>提題者 北川東子 舟場保之</p> <p>司会者 宗像恵</p>	<p>【共同討議Ⅱ】</p> <p>「生・死とケアの哲学」（文学部棟206号室）</p> <p>提題者 浜渦辰二 森下直貴</p> <p>司会者 川本隆史</p>	
<p>17:30</p> <p>18:00</p> <p>懇親会（生協第一食堂） （会費 一般5,000円、学生3,000円）</p> <p>20:00</p>		
<p>大会本部（法経第2会議室）</p> <p>会員控室（文学部棟103号室、社会文化科学系総合研究棟共通演習室1）</p>		

2007年5月20日(日) <第2日目>

<p>10:00</p> <p>【研究発表第1会場】(文学部棟106号室)</p> <p>アスペクト盲にアナロジーはできるのか? 池吉琢磨</p> <p>D.デイヴィドソンによる整合説と対応説の統合 尾形まり花</p> <p>当座理論と公共言語 古田徹也</p>	<p>【研究発表第2会場】(文学部棟206号室)</p> <p>ニーチェの実験哲学について 竹内綱史</p> <p>『危機』書の成立に関わる三つの論考 南孝典</p> <p>後期ハイデガーにおける自由への問いの可能性 鷲原知宏</p>	<p>【研究発表第3会場】(社会文化科学系総合研究棟マルチメディア講義室)</p> <p>どのようにして倫理的に善い行為は発生するのか 金子裕介</p> <p>分析的行為論におけるケア概念 早川正祐</p>
<p>12:00</p> <p>委員会(法経第1会議室)</p>		
<p>13:00</p> <p>【シンポジウム】(けやき会館大ホール)</p> <p>「哲学とはいかなる営みか?」 - 「哲学」と「フィロソフィア」の間 -</p> <p>提題者: 高山守、納富信留 コメンテーター: 石井紫郎、立花隆 司会者: 鹿島徹、坂井昭宏</p>		
<p>16:00</p> <p>16:00 終了</p>		

第五九回総会(五月一九日)式次第

- ・議長挨拶 佐藤和夫
- ・会長挨拶 野家啓一
- ・一般報告 入江幸男
- ・国際交流活動報告 尾関周二
- ・前年度決算報告 高橋久一郎
- ・会計監査報告 酒井潔・熊野純彦
- ・本年度予算案審議 高橋久一郎
- ・編集委員会報告 古茂田宏
- ・若手奨励賞表彰式

<タクシー案内>

千葉構内タクシー: 043-241-8181
西千葉タクシー: 043-279-1234